

平成 29 年度

(言語聴覚学科) 入学試験問題

小論文

(注 意)

- 1 係員の指示があるまで、問題用紙及び解答用紙に触れないで下さい。
- 2 問題は 4 頁～8 頁に印刷されています。
- 3 解答用紙に氏名、受験番号を記入して下さい。
- 4 机の上には鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、時計（計算機能のついていないものに限る）、受験票以外は置かないで下さい。
- 5 受験票は番号札の手前に置いて下さい。
- 6 マスクを着用している者は、試験官が本人を確認する間、マスクを外して下さい。
- 7 ハンカチ、ティッシュペーパーを使用する者は、静かに挙手をして、係員の指示に従って下さい。
- 8 試験中の途中退室は認められません。ただし、気分が悪くなったり、トイレへ行きたくなった者は静かに挙手をして、係員の指示に従って下さい。
- 9 試験問題に関する質問は一切受け付けません。
- 10 試験終了後、試験問題は持ち帰って結構です。

－問題は 4 頁より始まる－

【問題文】

課題文A・Bは、ある保育士が体験したことを書いた文章です。課題文A・Bからあなた自身の心で感じ、読み取ったことを800字以内で書きなさい。その際、課題文A・Bの内容を十分踏まえながら書くこと。また、論旨およびその流れがよくわかるように書くこと。さいごに、解答用紙に小論文のタイトルを書くこと。

【課題文 A】

この文章は、著作権上の事情により公開できません。

この文章は、著作権上の事情により公開できません。

(鯨岡峻「なぜエピソード記述なのか」より)

【課題文 B】

この文章は、著作権上の事情により公開できません。

この文章は、著作権上の事情により公開できません。

(鯨岡峻「エピソード記述を読む」より)

